

金沢SDGsミライ対話
《実施ガイド》

自分もまちもハッピーな2030年の金沢に向けて、
私たちのできることを考えよう



自分のやってることとSDGsって関係あるの??



SDGsに共感できる人を増やしたい
私のグループで
何ができるんだろう・・・?



金沢SDGs未来対話は
みなさん一人ひとりが**自分の**ためのSDGsを
見つけだす対話です!

SDGsは、2030年に向けて、
持続可能な社会を実現するために
世界中で取り組んでいる目標です。

ただ、2030年の金沢と言われても
イメージするのは難しい・・・



2030年の金沢のミライって
どんなイメージですか？



そこで、
「想像してみよう、金沢の未来」
をキーワードにして、

住民・専門家・行政が協力し、
2030年に実現したい金沢の姿
を描いたのが、
「金沢ミライシナリオ」です。

金沢ミライシナリオには、あなたの暮らし・仕事の
ハッピーな未来へのヒントがたくさんあります。

シニアが
地域の最先端をいく
憧れの存在になっている！

無理せず
自然とエコな暮らしが
できている！

子供が自信を持って
「自分のまちが好き！」
と言える！



いろんな世代が
町内会・自治会で
ワイワイしている！

困った時に
助けを求められる
場所や人が近くにいる！

会社の中で
良い未来を語るのが
当たり前になる！

そのヒント集を使って、自分たちの未来はどうか、
みんなで何ができるか、みんなで話しあってみましょう！

まずは、「私」からはじめてみよう！

最初は、SDGsもミライシナリオもついつい難しく考えてしまいがち！
でも実は、こんな風に「私」からはじめてみると
意外と縁遠いものではないのかもしれない！



「私の思い」を「対話」を通して共有し、
一緒に考えることで、**できること**が見えてくる



一人一人が自分の思い、考えを言葉にし、持ち寄って話すことで、

「**地域のために自分と仲間ですることができるのか？**」が明確になる。

それを進める「対話」の実施方法をまとめたのが「金沢SDGsミライ対話」です。

「私」から「2030年の金沢」をつくる3ステップ

金沢SDGsミライ対話は

私の未来から、金沢のまちとのつながりを再発見する **第1部**

私たちの得意なこと、地域資源を結びつけてアクションを考える **第2部**

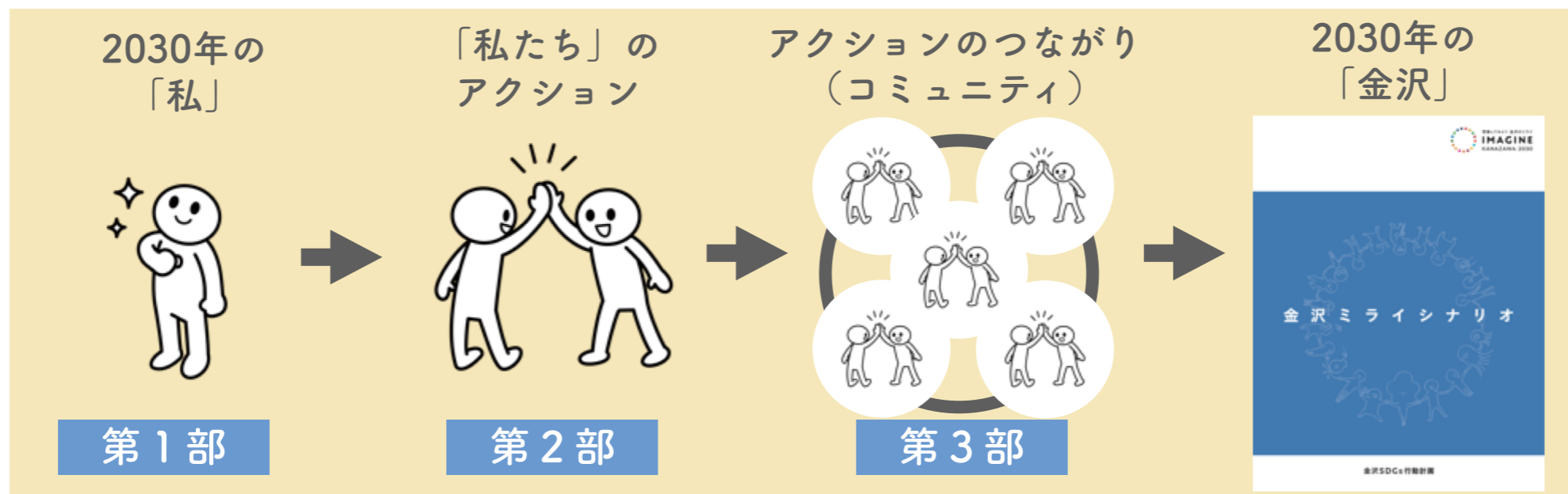
地域のみんな動きを知り、高めあい、まちの中で動く **第3部**

という、3部構成で成り立っています。

「私」から始まった思いが、

「私たち」のアクションとなり、

「地域のみんな」の動きになっていく過程をぜひ体感してください！



金沢SDGsミライ対話の実施方法

身近な仲間（組織の部署、地域のグループなど）4～6名1組で

第1部

想像してみよう！

2030年のウェルビーイング
(約120分)

ゴール

- 自分の未来と「金沢ミライシナリオ」を結び付けて考えることができる！
- SDGs達成に向けて、自分の関心テーマが見えてくる！



第2部

一緒に考えよう！

2030年に向けて私たちができること
(約120分)

ゴール

- 自分たちの強みを活かして、どんなアクションができるか具体的にイメージできる！
- 実現のために必要な連携・協働を考える



異なる分野・組織の人と（地域単位・市単位で、組織全体で）

第3部

一緒に動き出そう！

2030年へのパートナーシップ
(約120分)

ゴール

- 異なるテーマ、分野のアクションがつながり、連携できる可能性に気づく。
- 金沢を一緒に良くしていく仲間として、お互いに高めあう関係づくりができる



シート、ツールを活かして対話しよう

金沢SDGsミライ対話では、対話を効果的に進めるためにシート・ツールを活用していきます。

(第1部～第3部で使うシートやツールの一覧を次頁に掲載しています。)

シートを使うことで、以下のような効果が期待できます。

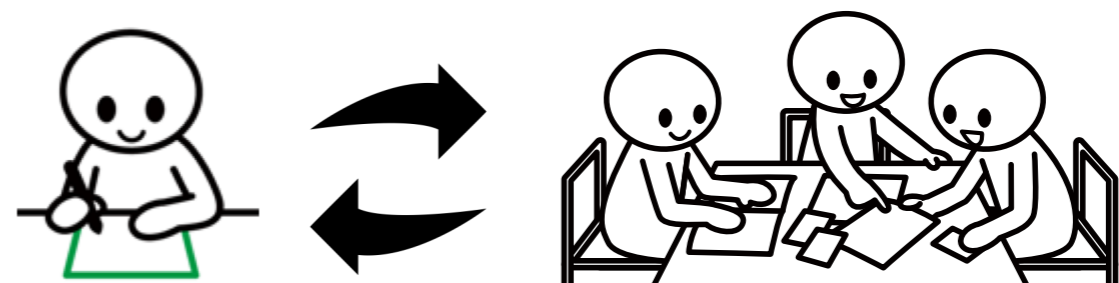
- ・参加者と進行役が対話の流れの全体像を把握し、共有することができる
- ・シートを書くことで、自分の考えや思いを整理しながら話せる

シートを使うことで、初めての人でも効果的に話を深めることができます。
ぜひご活用ください！

《利用にあたっての注意点》

シートやツールは対話を活性化する方法です。

- ・自分の考えの整理のために使おう！
文章をまとめる必要はなく、メモでOK！
- ・うまく言葉にならない時は、まず話してみるのもあり
- ・対話の中で思いついたことを書き足す、内容を変えるのも歓迎！



対話の効果的に行うためのシート、カード

第1部

第2部

第3部

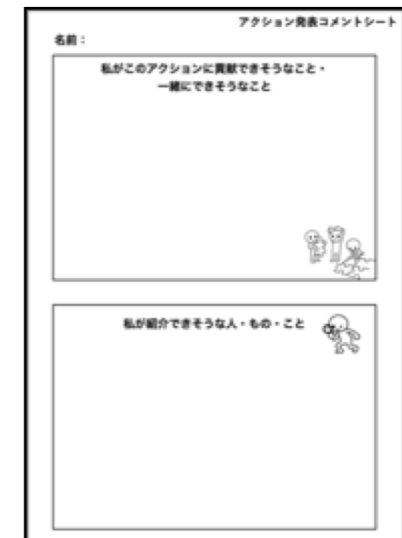
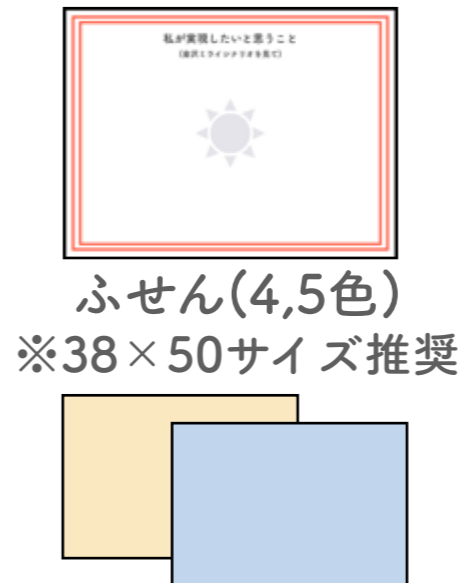
参加者ガイド
※ひとり1組

The worksheets are titled '金沢SDGsミライ対話 (参加者ガイド)'. The first page is a guide. The second page, '想像してみよう! 2030年 私のウェルビーイング', asks participants to imagine their 2030 well-being and fill in a table with their current and desired states. The third page, '一緒に考えよう! 2030年に向けて私たちができること', asks them to think about actions they can take, with a drawing of a flower where petals represent actions. The fourth page, '一緒に動かせよう! 2030年へのパートナーシップ', asks them to identify partners for their actions.

金沢ミライシナリオ
※ひとりずつorテーブルごと

ミライカード
※人数×2

GIVEカード
※発表数×人数分



対話を楽しむコツ

「対話」は、何が正しいか決めるための「議論」とは異なります。

問いをきっかけに自分の考えを言葉にし、お互いの考えを聴きあう。

そこから想像が膨らんだり、気づきが生まれたり、新しいアイデアが生まれる
ワクワク感を大切に話し合いましょう。



- ・自分の考えを整理できる
- ・他の人の考えを聞くことで、改めて自分の考えに気付く

シートを書くだけでなく、それをきっかけに話すことを楽しもう！



みんなで話すことで
新しいアイデアが生まれる

まとめるよりも、多様な視点を持ち寄り、発想が広がることを大切に！

Win-Win



様々なアイデア同士の
コラボレーションも生まれる

それぞれの意見の共通点、違う良さで補いあえることを一緒に探そう！

参考 SDGsとは？

SDGs (持続可能な開発目標) って？

「誰一人、取り残されない」世界を実現するため、2030年までに世界で実現したい17のゴールがまとめられたものです。今、SDGsに向けて世界の全ての国が、政府も企業も地域も動き出しています。



金沢でも…

気候変動による荒天、子どもの貧困、高齢者の孤立、感染症拡大の影響、地域文化の衰退など身近なところで、多くの問題が起きています。誰もが幸せな暮らしができる地域をどう実現し、続けていくのか。SDGsには、これからの金沢を考えるヒントがたくさんあります。

そこで、2030年の金沢を地域のみなさんで考え、パートナーシップで持続可能な金沢を実現するため、**金沢SDGs IMAGINE KANAZAWA 2030**が始まりました。



「いつか、だれかが」から、「いま、わたしが」へ

IMAGINE KANAZAWA 2030では、金沢でSDGsを推進する行動について、行政、市民、企業、学生、各分野の専門家などによる対話を通して考えてきました。そこから生まれたのが、金沢の「いま」と「みらい」の当事者の声からできたSDGs推進のアイデア集、**金沢ミライシナリオ**です。金沢の持続可能な未来を実現するための5つのシナリオと、それぞれの目標、取り組むこと、実践アイデアがまとめられています。

いよいよ
あなたの番
です！

金沢SDGs ミライ対話

職場で、地域で、学校で、家庭で、誰かとつながって、
いま、わたしの考えていることから
「これから、わたしたちが共に動くこと」を考えてみませんか

◆SDGsを知るために…

* Japan SDGs Action Platform

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html#about_sdgs

*金沢SDGs <https://kanazawa-sdgs.jp/>